



平成25年2月18日

北朝鮮による核実験実施発表に対する
放射能影響の観測結果等について

(第12報)

標記の件について、別添のとおりお知らせします。

<お問い合わせ先>

科学技術・学術政策局放射線対策課

課長 小川 (内線 3900)

放射線環境対策室長 田村 (内線 3930)

放射線環境対策官 おおじみ 大慈弥 (内線 4038)

電話 : 03-5253-4111 (代表)

北朝鮮による核実験実施発表に対する放射能影響の観測結果等について
(第12報)

平成25年2月18日
文部科学省
放射線対策課

平成25年2月12日の北朝鮮からの地下核実験の実施発表を受け、同日付の放射能対策連絡会議申合せに基づき、関係機関の協力を得て、我が国の放射能影響を把握するため、放射能観測等を実施しているところです。現在得られている測定結果は以下のとおりであり、特別な変化は見られませんでした。

1. 地上におけるキセノンの採取・測定結果

財団法人日本分析センターにおいて、地上におけるキセノンの採取（2月12日9時～2月14日9時）を行い、測定を実施した結果、放射性キセロンは検出されませんでした【別紙1参照】。

地上におけるキセノン分析調査結果報告
(試料採取期間 2月12日 9時[※]~2月14日 9時)

採取場所	測定結果(mBq/m ³)
日本分析センター(千葉市)	放射性キセノンは検出されず

※通常時のモニタリングとして採取を開始した時刻。その後、継続して採取。

測定時間: 約170,000秒(約48時間)